

(様式2) 新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		地すべり対策事業		路河川名等	八方岩区域			
事業毎の通番		2	市町村名	小谷村	箇所名(ふりがな)	八方岩(はっぽういわ)		
事業概要	事業目的	八方岩地区は北安曇郡小谷村に位置し、過去から幾度も地すべり滑動が発生している地域である。平成26年11月22日に長野県北部を震源として発生した地震に伴い地すべりが発生し家屋1戸が全壊した。区域内には人家や公共施設があり今後の降雨及び融雪により地すべりの滑動が活発化すると甚大な被害が想定されることから早急に対策を行う必要がある						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(地すべり災害を防ぐ施設の整備)		事業実施の根拠法令等	地すべり等防止法			
	関連する事業、計画等	なし						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家14戸、一般県道川尻小谷糸魚川線、村道						
	着手年度	平成27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	3.08	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	集水井 3基 抑え盛土 47,000m ³		横ボーリング工 L=5000m 水路工 1500m	500,000	250,000	225,000	25,000	
年度事業内容(主な工種)	集水井 3基 横ボーリング 2群			150,000	75,000	67,500	7,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家、道路等の保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	災害に強い地域づくり						
評価の視点	必要性	(例) 人家戸数:	保全対象人家14戸				評価	
		(例) 公共施設数:	一般県道川尻小谷糸魚川線、村道					
		(例) 災害時要援護者関連施設の有無:	無し					
	重要性	(例) 過去の災害履歴:	平成26年11月22日 長野県北部の地震により地すべりが発生				評価	
		(例) 交通遮断による地域経済への影響:	一般県道川尻小谷糸魚川線					
		(例) 地域防災計画上の位置づけ:	小谷村地域防災計画に記載がある。					
効率性	(例) 費用便益比(B/C):	B/C=3.08				評価		
	(例) 事業期間:	平成27~29年度(3箇年)						
	(例) 工法等の比較検討:	経済比較を行い工法を決定している						
緊急性	(例) 地すべり滑動度:	伸縮計の変動量が4mm/h未満				評価		
	(例) 地すべり変状:	過去1年以内に新たな滑落崖が形成され人家に影響が出ている						
	(例) 下流の堰堤等の整備状況:	地すべり発生箇所から下流保全対象までの間に堰堤がない						
計画熟度	(例) 事業情報の共有:	関係者に対し事業説明会を実施し周知している				評価		
	(例) 地域の取り組み:	小谷村から事業計画に対し要望があり協力体制が出来ている						
	(例) 地域の合意形成:	整備手法に対し地域の合意形成が図られている						
部意見	行政改革課意見	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	評価結果	総合評価				
			○	A				

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	 	
	【整備の必要性がわかる状況写真等】	   	
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	八方岩地区は北安曇郡小谷村に位置し、過去から幾度も地すべり滑動が発生している地域である。平成26年11月22日に長野県北部を震源として発生した地震に伴い地すべりが発生し家屋1戸が全壊した。区域内には人家や公共施設があり今後の降雨及び融雪により地すべりの滑動が活発化すると甚大な被害が想定されることから早急に対策を行う必要がある	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地震災害発生直後から地域より要望がある。	
	③事業説明等の経緯	伸縮計による警戒体制及び今後の事業について関係者へ説明済み。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	無し	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	横ボーリング孔口等、地表に露出するものはふとん竈など自然の資材を用いたもので施工し、環境や景観に馴染むよう配慮する。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により地すべり災害の防止が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36.495297 東経:E 137.561618